

令和6年度山形県立米沢栄養大学大学院（第三次募集）

一般選考について

◆解答例 ※実際に入学者選抜で選択された問題のみ抜粋

【問5】

ポピュレーションアプローチとは、特定の集団全体に対して、健康増進や疾病予防のための取り組みを行う手法です。リスクの有無に関わらず、集団全体を対象とするため、一次予防に力を入れるアプローチと言えます。例えば、地域住民全体を対象とした健康講座や、学校での食育などが挙げられます。ポピュレーションアプローチは、一次予防としての大事な戦略で、公衆栄養活動においては中心的な戦略であるが、受け手にとってはモチベーションが続きにくいなどのデメリットもあります。

ハイリスクアプローチは、健康診断などで特定された、高血圧や糖尿病など、疾病のリスクが高い人に重点的に介入する手法です。二次予防に力を入れるアプローチと言えます。例えば、特定の疾患を持つ患者への個別指導や、生活習慣病予防のための集中的な介入などが挙げられます。しかし、集団全体への影響が少ないデメリットもあります。

【問6】

公衆栄養の実践活動は、地域住民の健康・栄養課題を分析し、課題解決に向けた対策の実施、評価を行う一連の活動です。この活動は、個人の特性だけでなく、その人を取り巻く環境も大きく影響します。

個人レベルでは、個人の知識、態度、信念、社会的な地位、経済状況などが食行動に影響を与えます。例えば、栄養に関する正しい知識を持っている人や、健康的な食生活を送りたいという強い意志を持っている人は、より健康的な食を選択する傾向があります。

一方で、環境レベルでは、物理的な環境（食料の入手性、調理環境など）、社会的な環境（家族、友人からの影響、文化的な背景など）、政策（食に関する政策、栄養教育プログラムなど）が食行動に影響を与えます。例えば、周囲にコンビニがなく、健康的な食品が入手しにくい環境では、健康的な食を選択することが難しくなります。

【問9】

1. 世界中で 20 億人以上が鉄欠乏の影響を受け、そのうち 10 億人以上が鉄欠乏性貧血を発症している。2010 年には鉄欠乏により推定で 4500 万の障害調整寿命年が失われた。

2. 食事から吸収される鉄の割合

3. 食事の組成と個人の吸収力の影響を受けるため

4. (採点基準等)

全体の文章構成や論理性、内容の適切性や独自性、文章表現といった採点基準に基づいて採点を行った。なお、誤字脱字、指定字数を守っていない場合はそれぞれ減点した。